

瀬山亜津咲

瀬山紀子にクラシックバレエを学び、

その後国立バレエスタジオにて石沢秀子に師事。

アメリカ、ノースカロライナ・スクール・オブ・ジ・アーツ留学を経て、

テキサスのバレエ・オースティン、メキシコ、キューバ等で研鑽を積む。

その後ドイツに渡り、フォルクヴァング芸術大学で学んだ後、

2000年にヴッパタール舞踊団に入団。以来、ピナ・バウシュの数多くの創作に参加し、

またレパートリー作品を踊る。映画『Pina/ピナ・バウシュ 踊り続けるいのち』

(ヴィム・ヴェンダース監督/2011年公開)にも出演している。

2016年 ピナ・バウシュ財団、ピナ・バウシュヴッパタール舞踊団とバイエルン国立

(州立)歌劇場バレエ団(ミュンヘンバレエ)による共同プロデュース企画 " EIN STÜCK VON PINA BAUSCH IN MÜNCHEN" のリハーサルアシスタントをつとめる。

個人の活動では日本を始め世界各国でのワークショップ、さいたまゴールド・シアター ×

瀬山亜津咲の演出・振付を 2013年にワーキングプロセス公開を経て、2014年「KOMA」

を発表。同年、fabien prioville dance company のプロジェクト「time for us」

で夫 ファビアンプリオヴィルと共演。また同カンパニーの作品のアシスタントも行なっている。

ファビアンプリオヴィル

アンジェ (フランス) 振付センター (CNDC) にて学ぶ。エドゥワール・ロックのラ・ラ・

ラ・ヒューマン・ステップス (カナダ)、フィリップ・ブランシャール (ストックホルム)

でダンサーとして活躍。1999年ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団に入団。2006年退団

後はフリーで活動、振付家としてもジョセフ・ナジ (Josef Nadj)、デイビス・フリーマン

(Davis Freeman) ら多数のアーティストと作品を創作。ドイツ、ニューヨークのジュ

リアード・スクールや日本、オーストラリア、マリ共和国などでも作品を発表。

2010年自身のカンパニーをドイツにて立ち上げ、2009年ソロ作品『Jailbreak Mind』

を始め数々の作品を発表、ルイズ・ルカヴァリエ、瀬山亜津咲などと共演。日本を始め、

世界各国で公演を行なっている。

日本では 2008年、2013年に認定 NPO 法人バレエノアとの作品「紙ひこうき

(kamihikouki)」「3B」を発表。奥秀太郎監督作品「星座」(2013年秋公開)にダンサー・

振付家の黒田育世と出演。

2015年 あうるすぽっと (公益財団法人としま未来文化財)、豊島区、An Creative との

国際共同制作でピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団出身のダンサーと日本人のアーティスト

とのコラボレーション「SOMA プロジェクト」を発表し、ドイツ公演も行っている。